

平成 20 年 2 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社新生銀行  
代表者名 代表執行役社長 ティエリー ポルテ  
(コード番号 8303 東証第一部)

### 第三者割当による新株式発行に関する払込完了に伴う資本調達の実施完了のお知らせ

平成 20 年 1 月 18 日開催の当行取締役会において決議いたしました第三者割当による新株式発行に関し、本日払込手続きが完了いたしましたので、お知らせいたします。これにより、財務基盤の強化及び投資家、株主との連携を強化するための今回の一連の取り組みが完了することになります。当行は本件を通じて調達した資金をインスティテューショナルバンキング、コンシューマーアンドコマースファイナンス及びリテールバンキングの各戦略業務分野に効果的に配分し、わが国における新たな銀行モデルを作り上げるべく引き続き業務を推進してまいります。

本件資本調達は、昨年 11 月 20 日にジェイ・シー・フラワーズ・アンド・カンパニー・エルエルシー(以下「JCF&Co.」といいます)の関係者を含む投資家により新たに組成された投資ピークル(以下「公開買付者」といいます)による当行株式に対する公開買付けに対し、当行が賛同の意を表明したことで始まりました。公開買付者は公開買付けを通じて、1 月 24 日に 358,456,000 株を 1 株当たり 425 円にて取得しました。引き続き、同じく 1 株当たり 425 円にて総額 500 億円の第三者割当による新株式発行が実施され、その結果、最終的に投資家グループは完全希薄化後の当行発行済普通株式(除く自己株式)の約 32.6%を保有することになります。JCF&Co.の創始者で CEO でもある、J・クリストファー・フラワーズ氏は新生銀行の発足当初から、投資家ならびにアドバイザーとして指導的な役割を果たしてきました。

当行社長のポルテは以下のように述べています。「これをもって、昨秋からの資本調達プロセスが成功裏に完了を迎えることとなります。本件は当行と親密な関係を有する投資家からの信任の現れといえるものであり、この成功により当行は新たな成長軌道へと向かうことが可能となります。」

本件を通じて調達された資本による資金力及び自己資本の増強により、当行は今後のインスティテューショナルバンキング業務における投資・買収案件においても優位に立つことができるようになります。また、リテールバンキング業務においては、サービスの向上を通じて顧客満足度などにおいて高い評価を得ていますが、この時代の一步先を行くサービスネットワークを更に拡張していきたいと考えています。コンシューマーアンドコマースファイナンス業務では新しいビジネスモデルを構築しつつありますが、この動きを更に推し進めてまいります。すなわち、長期的な成長の機会を豊富に有する当該業務において、当行の持つ財務及びリスク管理のノウハウや最先端のITを有効に活用していくということです。当行のIT、財務基盤及びリスク管理のノウハウを

各ビジネスに適用していくことにより、当行は新しい商品・サービスの提供とあわせ、スケールメリットを実現する機会を求めていくことが可能になると考えております。

第三者割当増資に関する詳細は以下の通りです。

1. 第三者割当による新株式発行について

(1)発行新株式数	普通株式	117,647,059株
(2)発行価額	1株につき	425円
(3)発行価額の総額		50,000,000,075円 (1株につき425円)
(4)資本組入額		25,000,000,038円
(5)募集または割当方法	第三者割当の方法により下記(9)記載の割当先に割当てました。	
(6)申込期間		平成20年2月1日
(7)払込期日		平成20年2月4日
(8)新株券交付日		平成20年2月5日(予定)
(9)割当先および株式数		
	サターンIサブ(ケイマン)エグゼンプト・リミテッド	5,056,452株
	サターン・ジャパンIIサブ・シーブイ	5,492,190株
	サターン・ジャパンIIIサブ・シーブイ	27,292,678株
	サターンIVサブ・エルピー	79,805,739株

2. 今回の増資による発行済株式総数の推移

(1)増資前発行済株式総数	1,673,570,944株
(2)増資による増加株式数	117,647,059株
(3)増資後発行済株式総数	1,791,218,003株

以上